

Care Nexus 2025

ケアする人をケアする 未来への架け橋

家族介護者や支援者にとって、「**ケアする人をケアする**」社会を実現するための次の一歩を探るフォーラムを開催します。

認知症ケアの現場から専門家や家族介護者の声を共有し、制度内外での支援の在り方を具体的に議論します。
未来のケアを一緒に描きませんか？

日時 | 2025年1月24日(金) 19:00-20:30

会場 | Nakanoshima Cross (大阪市北区中之島4丁目3番51号)

参加費 | 無料

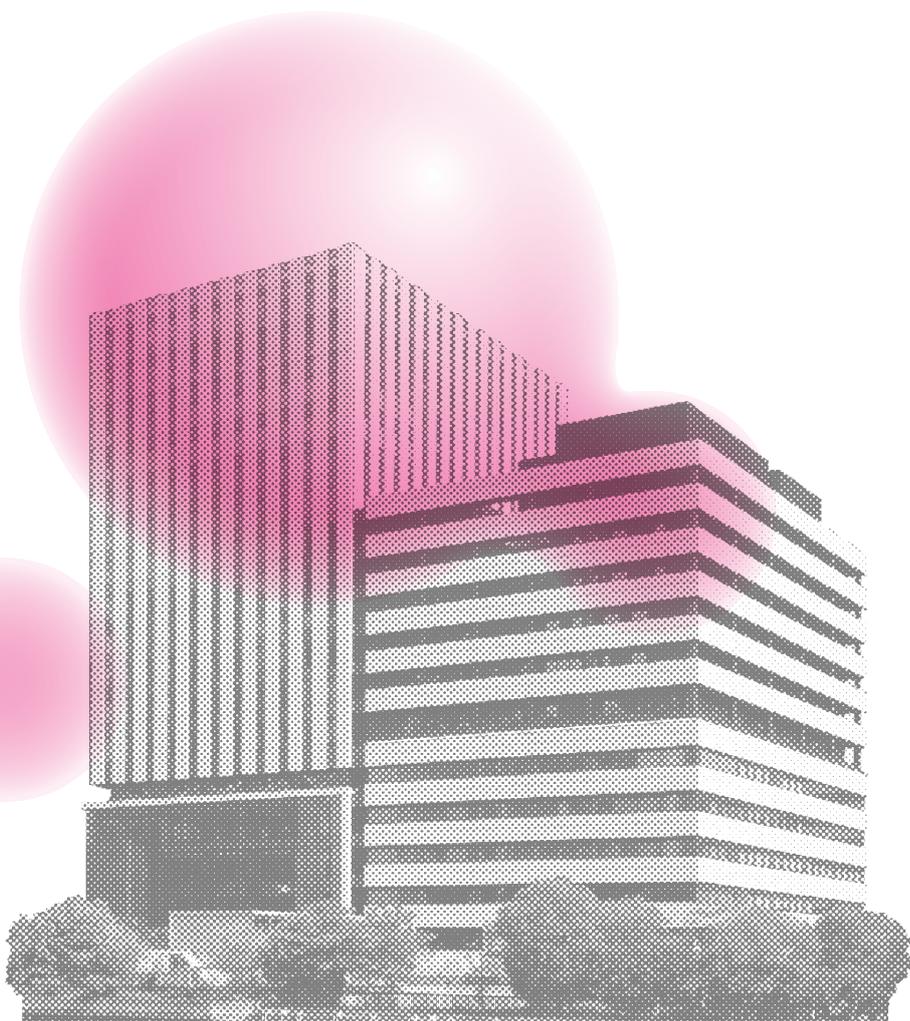


Google Map

参加
方法

右記二次元コードからフォームに申込み、もしくは参加者の人数・お名前、ご所属を記載のうえ、下記メールアドレスまで件名を「中之島クロスイベント参加希望」としてお送りください。

▶ dementiafamilyencourage@gmail.com



プログラム

19:00～19:05
 オープニング

挨拶と趣旨説明

〈挨拶〉山川みやえ(大阪大学)
 認知症ケアにおける「ケアする人をケアする」社会の重要性について。
 本日の議論が具体的な次の一歩となることをめざします。

19:05～19:20
 インブットーク

「専門医療機関から見た認知症の本人と家族 良い生活のためのケアの未来」

〈登壇者〉釜江和恵(公益財団法人浅香山病院)
 認知症本人と家族が直面する課題とそのケアの現状。
 地域連携の成功事例と提言。

19:20～19:55
 カンファレンス
 第1部

「家族支援制度化への期待と不安」

〈モデレータ〉山川みやえ(大阪大学)
 〈登壇者〉家族介護者代表(ラフrafベテラン会2-3名)、釜江和恵(認知症専門医)、紀伊信之(日本総合研究所)
 制度化の期待とリスクについての議論。家族介護者の体験談や具体的な事例紹介。医療者・行政視点での課題整理。

19:55～20:25
 カンファレンス
 第2部

「保険制度外でのサポートの在り方」

〈モデレータ〉河上崇陽(DFJI)
 〈登壇者〉釜江和恵、企業CSR担当者、ボランティア代表、家族介護者1名
 企業やボランティアの事例を通じた制度外支援の可能性。各セクターの連携方法についての提案。

20:25～20:30
 クロージング

まとめと次回案内

山川より感謝の言葉と議論の振り返り。参加者への応援メッセージ。

本イベントは、大阪大学公認クラウドファンディング

『認知症による生きづらさに伴走するプロジェクト。- 家族も本人も笑顔に -』
 をもとにしたイベントとなっております。

プロジェクトの詳細については、下記のQRコードまたはインターネットで検索してください。



READYFOR

大阪大学 家族介護者 レディーフォー



お問い合わせ先

大阪大学医学系研究科老年看護研究室

dementiafamilyencourage@gmail.com

クラウドファンディングページ



あるご家族のお話掲載中！ ぜひチェックしてね！

<https://readyfor.jp/projects/kazoku-ouen>

